

2016 地域おこし協力隊が行く

地域おこし協力隊は、栗田雅史隊員と菅谷光太郎隊員と大塚省吾隊員と柴田学隊員合わせて4人います。毎月金山での体験した活動、新しい魅力・発見を紹介します！



今月の栗田隊員



昨年から取り組んでいた戦争体験の「聞き書き活動」で作成した記事を、金山町教育委員会ホームページ「森と町と人のミュージアム」に掲載いたしました。

この「聞き書き活動」は、協力隊発案の企画ではありませんでした。当時の体験を話してくださった黒沼仁さん（羽場）から、協力隊に「自分の戦時中の体験を何らかの形で後世に伝えたいので手伝ってほしい」と、ご依頼を頂いたことから、この活動が始まりました。

「聞き書き」という活動は全く初めてのことで、どこまでできるのか不安はありましたが、町の方から「手伝ってほしい」と仰っていただけのは嬉しくもあり、精一杯やろうと、記事の作成に取り組んできました。黒沼さんの体験は、終戦直前



羽場地区 黒沼 仁氏の思い出



黒沼 仁氏



の金山町を、米軍機が飛来した日の出来事です。ぜひ、一人でも多くの町の皆様に知って頂きたいです。

金山町教育委員会HP

「森と町と人のミュージアム」
<http://kaneyama-museum.jp/>

今月の菅谷隊員

今回は私がしている「お土産品・特産品」の開発について紹介します。

他の方が作っていない、していない「モノ」・「コト」を念頭においています。現在取り組んでいるものでは、金山杉のエッセンシャルオイル作りとそれに付随するアロマグッズの企画やレーザー加工機を使用した杉製



皆様と協力して何かできたら良いなと考えています。

品等なのですが、もう一つクルミの木の樹液で作るシロップ作りに挑戦しています。クルミは根を長く張り、樹皮には除草効果があるため田畑に悪影響を与えるので忌み嫌われています。使い方が限定されていたクルミから樹液を採取し甘いシロップを作るのです。クルミの木は比較的低地にもありますし、多くは水際に生えているのですが、町全体に分布しています。

